

修了生の活躍事例

溶接への強い関心と学びへの決意

金属加工、特に溶接に強い興味を持つようになり、知人にポリテクセンターの修了生がいたことから、そこで専門的に溶接を学べることを知りました。その経験談に大きな刺激を受け、将来の仕事に役立てたいと考え、金属加工技術科を受講する決意を固めました。

株式会社 オガタ

橋口 太一郎 さん

[⇒前職：製造業塗装(正規)]

金属加工技術科 (テクニカルメタルワーク科)

(6か月訓練)

令和 5年 5月 入所

令和 5年 10月 修了



受講を通じて得た幅広い技能

受講中は単に溶接技術を習得するだけでなく、就職後に幅広く活用できる多様な知識や技能を学ぶことができました。その結果、専門性を高めるだけでなく新しい分野にも挑戦できる自信が付き、仕事の選択肢や可能性を大きく広げることができました。

受講を検討している方へのメッセージ

技術は基礎があってこそ応用が可能であり、そのためにはまず土台を固めることが重要です。ポリテクセンターでの6ヶ月間は、その基礎を体系的かつ実践的にしっかりと学び身につける貴重な期間になると思います。

就職先企業での活躍

橋口太一郎さんの業務

製缶業務に従事しており、キュービクルの土台となる重要なベース製造を担当しています。その中心的役割を担うことで、製品の品質や安全性を支える責任を果たし、現場全体の基盤を支える大切な仕事に取り組んでいます。



採用者の声

採用担当 押川様

入社当初と比べると技術力が着実に向上し、作業の速度や精度も大幅に改善されました。その結果、業務の効率化だけでなく品質面でも高い評価を得ることができ、取引先からの信頼を確実に築き上げています。



株式会社 オガタ (宮崎県宮崎市)

現在ポリテクの修了生2名が活躍

当社は建築金物の設計や製造を主力業務として取り組む一方で、製缶業にも積極的に力を注いでいます。建築金物の分野で長年培ってきた高度な技術力を異なる分野にも応用することで、業務の幅をさらに広げ、より多様なニーズに対応できる体制を整えています。

